



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場取引所 東大

上場会社名 塩野義製薬株式会社

コード番号 4507 URL <http://www.shionogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手代木 功

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 岸田 哲行

TEL 06-6202-2161

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	217,273	5.2	35,708	1.9	33,723	1.0	13,528	△47.0
22年3月期第3四半期	206,451	25.2	35,028	52.6	33,389	42.6	25,535	135.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	40.40	—
22年3月期第3四半期	76.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	505,691	322,689	63.8	963.54
22年3月期	540,761	341,976	63.2	1,019.71

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 322,689百万円 22年3月期 341,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
23年3月期	—	20.00	—		
23年3月期 (予想)				20.00	40.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	283,000	1.6	54,000	3.0	51,500	1.9	30,000	△22.3	89.58

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 351,136,165株 22年3月期 351,136,165株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 16,236,291株 22年3月期 16,231,245株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 334,903,240株 22年3月期3Q 334,918,557株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における医薬品市場におきましては、国内において昨年4月に業界平均6.5%の薬価引き下げが実施され、一方で、国内外において2010年問題と言われる特許切れ品の落ち込みをカバーするため、各社ともシェアの維持拡大を図り、従来以上に厳しい市場環境に推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、医療用医薬品を中心として、高コレステロール血症治療薬「クレストール」や高血圧症治療薬「イルベタン」、抗うつ薬「サインバルタ」、外用尋常性ざ瘡治療剤「ディフェリン」、特発性肺線維症治療薬「ピレスパ」などの薬剤の拡大に精力的な取り組みを進めており、それらのマーケットシェアを順調に拡大してきております。一方、グローバル化の第一歩として取り組んでおります米国事業では、第1四半期に落ち込んだ業績の立て直しに取り組み、ロケーションの統合や人員削減を含めたコストカットも実施してまいりました。当第3四半期には、一部の品目でリコールの発生もあり、売上目標には届きませんでした。赤字体質からの脱却にはめどが立ち、コンスタントに収益を出す構造へ変わりつつあります。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高2,172億73百万円、営業利益357億8百万円、経常利益337億23百万円、四半期純利益が135億28百万円となりました。

売上高につきましては、「クレストール」「イルベタン」「サインバルタ」が増加し、「ディフェリン」「ピレスパ」も売上に寄与いたしました。一方、抗生物質などの既存品は薬価改定の影響もあり減少し、医療用医薬品全体としては、前年同期比1.6%の増加となりました。「ロイヤリティ収入」は前年同期に比べ大きく増加しましたが、米国子会社シオノギINC.の売上が減少したほか、前連結会計年度まで国内子会社であった武州製薬㈱を売却したこともあり、全体としての売上高は前年同期比5.2%の増加となりました。

利益面につきましては、「ロイヤリティ収入」の増加により売上総利益が前年同期比4.7%の増加となりましたが、販売費及び一般管理費が5.5%増加したため、営業利益は1.9%の増加となっております。経常利益も同様に1.0%増加しました。四半期純利益は、シオノギINC.における減損損失や事業構造改善費用などの特別損失及び前年同期において株式交換益があったため、前年同期比47.0%の大幅な減少となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は5,056億91百万円で、前連結会計年度末と比べて350億70百万円減少しました。流動資産は、前連結会計年度末より96億26百万円減少し、2,410億37百万円となっております。これは、主として、海外子会社の現金及び売掛金の減、及びそれら資産の円換算額が円高により目減りしたことによるものです。また固定資産は、のれんの償却やその他の無形固定資産の償却及び減損と為替変動の影響により、前連結会計年度末より254億43百万円減少し、2,646億53百万円となっております。

負債合計は1,830億1百万円で、前連結会計年度末と比べて157億83百万円減少しました。流動負債は、法人税の支払いなどにより、前連結会計年度末より58億86百万円減少し、609億42百万円となっております。また固定負債は、長期借入金の短期借入金への振替などにより、前連結会計年度末より98億96百万円減少し、1,220億59百万円となっております。

純資産合計は3,226億89百万円で、前連結会計年度末と比べて192億86百万円減少しました。株主資本は、利益による増加や配当金の支払による減少などにより、前連結会計年度末より7億94百万円増加し、3,552億38百万円となっております。また、評価・換算差額等は、為替換算調整勘定のマイナス増及びその他有価証券評価差額金の減少により、前連結会計年度末より196億9百万円減少した325億48百万円のマイナスとなりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、340億25百万円の収入で、主な内訳は、税金等調整前四半期純利益222億89百万円、減価償却費141億24百万円、法人税等の支払額214億47百万円などであり、前年同期比14億90百万円の収入増でした。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出95億98百万円や、投資有価証券の取得による支出30億83百万円などにより、165億37百万円の支出となりました。前年同期に投資有価証券の償還収入があったため、前年同期比88億96百万円の支出増でした。

また、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入金の返済75億円、配当金の支払127億17百万円などで、204億47百万円の支出となりました。前年同期比218億9百万円の支出増でした。

これらを合わせた当第3四半期連結累計期間の「現金及び現金同等物の増減額」は56億83百万円の減少となり、当第3四半期連結会計期間末の「現金及び現金同等物の期末残高」は、919億79百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成22年10月22日発表の業績予想を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要
該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要
記載すべき重要な事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち在外連結子会社は10社であります。在外連結子会社のうち1社の決算日は12月31日であり、連結財務諸表の作成にあたっては、12月31日現在の財務諸表を使用しております。連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

なお、当連結会計年度より、シオノギINC.（シオノギUSAホールディングス、INC. は平成22年7月にシオノギINC. に商号変更しております。）他8社は、決算日を連結決算日に変更しました。

この変更により、連結子会社9社については平成22年1月1日から平成23年3月31日までの15ヶ月決算となっております。

この決算期変更に伴い、当第3四半期連結損益計算書は、平成22年1月1日から平成22年12月31日までの12ヶ月間を連結しており、従来と同一の基準に比べて、売上高は9,682百万円増加、営業利益は609百万円減少、経常利益は574百万円減少、税金等調整前四半期純利益は1,013百万円減少、四半期純利益は632百万円減少しております。

2. 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、第1四半期連結会計期間より、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当する事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,178	33,532
受取手形及び売掛金	71,741	79,414
有価証券	75,470	70,677
商品及び製品	26,926	26,931
仕掛品	13,434	14,058
原材料及び貯蔵品	10,730	8,350
その他	17,566	17,710
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	241,037	250,664
固定資産		
有形固定資産	64,302	62,447
無形固定資産		
のれん	58,500	69,874
その他	40,349	49,190
無形固定資産合計	98,849	119,065
投資その他の資産		
投資有価証券	66,147	71,870
その他	35,474	36,835
貸倒引当金	△121	△121
投資その他の資産合計	101,501	108,584
固定資産合計	264,653	290,097
資産合計	505,691	540,761
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,290	13,400
1年内返済予定の長期借入金	14,000	14,000
未払法人税等	5,479	13,479
賞与引当金	3,815	6,473
その他の引当金	1,056	1,316
その他	22,301	18,159
流動負債合計	60,942	66,829
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	69,500	77,000
退職給付引当金	8,507	8,077
その他	14,051	16,878
固定負債合計	122,059	131,955
負債合計	183,001	198,785

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	20,227	20,227
利益剰余金	333,472	332,669
自己株式	△19,741	△19,733
株主資本合計	355,238	354,443
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,128	10,362
為替換算調整勘定	△39,677	△23,301
評価・換算差額等合計	△32,548	△12,939
少数株主持分	—	471
純資産合計	322,689	341,976
負債純資産合計	505,691	540,761

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	206,451	217,273
売上原価	57,131	60,958
売上総利益	149,320	156,314
販売費及び一般管理費	114,292	120,605
営業利益	35,028	35,708
営業外収益		
受取利息	275	280
受取配当金	997	1,096
その他	689	466
営業外収益合計	1,962	1,843
営業外費用		
支払利息	1,294	1,128
寄付金	903	833
為替差損	—	1,151
その他	1,402	715
営業外費用合計	3,600	3,828
経常利益	33,389	33,723
特別利益		
債務免除益	—	279
負ののれん発生益	—	243
企業結合における交換利益	4,900	—
特別利益合計	4,900	523
特別損失		
減損損失	—	7,346
事業構造改善費用	—	4,143
投資有価証券評価損	68	—
固定資産売却損	3	—
その他	—	468
特別損失合計	71	11,957
税金等調整前四半期純利益	38,218	22,289
法人税、住民税及び事業税	11,542	12,505
法人税等調整額	1,135	△3,775
法人税等合計	12,678	8,730
少数株主損益調整前四半期純利益	—	13,559
少数株主利益	5	30
四半期純利益	25,535	13,528

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	38,218	22,289
減価償却費	13,157	14,124
減損損失	—	7,346
のれん償却額	2,837	3,557
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	—
受取利息及び受取配当金	△1,272	△1,376
支払利息	1,294	1,128
為替差損益(△は益)	381	706
その他の損益(△は益)	△4,900	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,231	6,660
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,427	△2,113
仕入債務の増減額(△は減少)	30	1,031
その他	5,046	1,760
小計	45,135	55,117
利息及び配当金の受取額	1,300	1,379
利息の支払額	△963	△1,023
法人税等の支払額	△12,938	△21,447
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,534	34,025
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,432	△3,051
定期預金の払戻による収入	3,122	3,099
有価証券の取得による支出	△462	△9,843
有価証券の売却及び償還による収入	2,454	9,359
有形固定資産の取得による支出	△6,116	△9,598
有形固定資産の売却による収入	48	52
投資有価証券の取得による支出	△3,711	△3,083
投資有価証券の償還による収入	5,000	—
貸付金の回収による収入	2	1
その他	△4,546	△3,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,641	△16,537
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,000	—
長期借入れによる収入	337	—
長期借入金の返済による支出	△7,500	△7,500
社債の発行による収入	30,000	—
配当金の支払額	△10,718	△12,717
少数株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△754	△227
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,361	△20,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	△849	△2,723
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	25,405	△5,683
現金及び現金同等物の期首残高	51,536	97,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	76,941	91,979

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当する事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める医薬品及びその関連する事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	176,860	28,308	1,282	206,451	—	206,451
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	252	2,201	37	2,491	(2,491)	—
計	177,113	30,509	1,320	208,942	(2,491)	206,451
営業利益	35,329	2,242	293	37,865	(2,837)	35,028

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高(百万円)	36,678	33,379	3,258	73,316
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	206,451
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.7	16.2	1.6	35.5

[セグメント情報]

当社グループは、医療用医薬品の研究開発、仕入、製造、販売ならびにこれらの付随業務を事業内容とする単一事業であります。製品別の販売状況、会社別の利益などの分析は行っておりますが、事業戦略の意思決定、研究開発費を中心とした経営資源の配分は当社グループ全体で行っており、従って、セグメント情報の開示は省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当する事項はありません。

平成23年3月期 第3四半期業績 補足資料

平成23年1月31日
塩野義製薬株式会社

① 主要製品売上高

(単位:億円)

	22年下期 当初予測	22年度 当初予測	22年 10-12月 実績	21年 10-12月 実績	22年 4-12月 実績	21年 4-12月 実績	対予測 進捗率	22年度 修正予測	22年度 修正額
国内医療用医薬品	803 (3.1)	1,554 (1.9)	439 (3.3)	424 (0.3)	1,190 (1.6)	1,171 (0.5)	76.6	1,554 (1.9)	-
クレストール	155	292	84	69	220	184	75.5	292	-
イルベタン	45	78	22	12	55	25	70.1	78	-
サインバルタ	17	26	9	-	18	-	68.2	26	-
戦略3品目合計	217	396	114	82	293	209	74.0	396	-
オキシコンチン	50	98	27	25	75	67	76.5	98	-
フィニバックス	22	40	10	8	28	26	68.9	40	-
ディフェリン	15	30	10	6	24	16	80.5	30	-
ピレスパ	17	30	8	4	21	11	68.6	30	-
ラピアクタ	18	18	△3	-	△3	-	-	18	-
戦略8品目合計	340	612	166	125	437	328	71.5	612	-
フロモックス	100	201	66	79	167	192	83.0	201	-
リンデロン等外用	41	91	23	23	74	75	80.9	91	-
フルマリン	30	69	21	23	60	70	86.2	69	-
クラリチン	51	82	22	20	53	55	64.6	82	-
塩酸バンコマイシン	17	43	14	15	40	49	92.5	43	-
イムネース	16	32	9	11	25	37	77.3	32	-
輸出/海外子会社	182 (△27.9)	442 (△9.9)	87 (△31.5)	127 (346.7)	347 (△5.1)	365 (426.7)	78.5	432 (△12.0)	△10
シオノギInc.	129	※1 339	56	99	※2 266	283	78.5	※1 329	△10
ドリペナム	29	54	17	13	42	42	77.6	54	-
製造受託	16 (△60.6)	34 (△54.2)	19 (0.3)	19 (20.5)	37 (△30.2)	53 (15.7)	108.8	44 (△40.7)	10
一般用医薬品	27 (7.1)	55 (1.1)	13 (△3.4)	14 (△3.2)	42 (△3.8)	43 (1.6)	75.5	55 (1.1)	-
セデス類	11	24	7	6	20	19	82.0	24	-
ポポンS類	6	11	2	3	7	9	62.3	11	-
診断薬	13 (△3.6)	28 (△4.9)	7 (7.5)	6 (△23.3)	21 (△2.2)	21 (△13.0)	76.6	28 (△4.9)	-
ロイヤリティー収入	335 (1.3)	683 (19.8)	167 (21.5)	138 (40.8)	516 (36.6)	378 (37.1)	75.6	683 (19.8)	-
クレストール	307	635	152	132	480	357	75.5	635	-
その他	22 (12.6)	34 (△16.4)	7 (△28.7)	10 (△5.0)	19 (△38.8)	31 (29.4)	56.4	34 (△16.4)	-
合計	1,397 (△4.3)	2,830 (1.6)	739 (0.1)	738 (23.4)	2,172 (5.2)	2,064 (25.2)	76.8	2,830 (1.6)	-

()内 対前年UP%

製品別売上高は単体実績

米国子会社 決算期の変更により

※1 22年1月～23年3月の15ヶ月分を計上

※2 22年1月～22年12月の12ヶ月分を計上

②-1 四半期別業績推移(四半期別主要製品売上高)

(単位:億円)

平成22年3月期	21年4-6月 実績	対前年 UP率	21年7-9月 実績	対前年 UP率	21年10-12月 実績	対前年 UP率	22年1-3月 実績	対前年 UP率
医薬品及びその関連する事業	634	24.2	671	27.5	728	23.9	711	17.3
医療用医薬品	372	△ 2.2	375	3.5	424	0.3	354	△ 3.4
クレストール	55	44.1	60	33.2	69	43.6	58	26.3
フロモックス	58	△ 4.6	55	△ 9.1	79	△ 10.2	48	△ 24.6
リンデロン等外用	26	△ 1.2	25	0.2	23	△ 5.3	21	1.9
クラリチン	18	1.1	16	8.0	20	2.2	36	△ 18.3
フルマリン	22	△ 12.9	25	△ 14.7	23	△ 16.6	17	△ 10.2
オキシコンチン	22	6.5	20	6.0	25	6.5	18	30.4
塩酸バンコマイシン	17	△ 26.3	17	△ 24.2	15	△ 18.1	12	△ 28.8
イムネース	13	△ 34.3	13	△ 21.3	11	△ 8.9	9	△ 29.1
イルベタ	4	△ 53.5	8	359.7	12	-	14	919.3
フィニバックス	8	35.0	10	26.2	8	△ 6.5	8	14.4
ディフェリン	5	-	5	-	6	△ 6.0	6	5.1
ピレスパ	3	-	3	-	4	-	5	280.8
アベロックス	3	△ 26.7	2	△ 10.4	3	△ 42.8	2	△ 37.0
ラピアクタ	-	-	-	-	-	-	6	-
輸出・海外事業	119	521.0	120	447.6	127	346.7	125	7.1
シオノギファーマ	95	-	88	-	99	-	104	12.2
ドリベネム	12	157.5	17	189.2	13	△ 18.8	10	16.7
製造受託	14	22.8	20	6.9	19	20.5	21	79.6
一般用医薬品	14	△ 0.8	16	8.8	14	△ 3.2	10	10.1
セデス類	6	5.7	8	12.0	6	△ 0.1	4	8.0
ポボンS類	2	△ 6.4	4	30.4	3	△ 4.0	2	1.4
診断薬	8	△ 10.7	8	△ 4.7	6	△ 23.3	7	△ 5.7
ロイヤリティ収入	105	39.4	135	31.8	138	40.8	192	106.6
クレストール	100	38.2	125	34.4	132	41.5	143	69.4
その他の事業	5	△ 9.1	16	114.2	10	△ 5.0	10	△ 53.4
合計	640	23.8	686	28.6	738	23.4	721	15.0

平成23年3月期	22年4-6月 実績	対前年 UP率	22年7-9月 実績	対前年 UP率	22年10-12月 実績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	380	2.1	371	△ 0.9	439	3.3
クレストール	66	19.9	71	17.5	84	21.0
イルベタ	16	347.9	17	95.9	22	75.0
サイバルタ	4	-	5	-	9	-
戦略3品目合計	85	46.6	94	34.8	114	40.1
オキシコンチン	25	13.7	23	13.5	27	7.7
フィニバックス	9	5.2	9	0.6	10	18.1
ディフェリン	6	32.2	9	53.5	10	54.4
ピレスパ	7	150.1	6	75.3	8	79.7
ラピアクタ	0	-	0	-	△ 3	-
戦略8品目合計	132	37.6	140	30.1	166	32.1
フロモックス	53	△ 8.6	48	△ 12.6	66	△ 16.6
リンデロン等外用	25	△ 1.1	25	△ 2.8	23	△ 0.5
フルマリン	18	△ 16.5	21	△ 17.5	21	△ 9.9
クラリチン	16	△ 8.0	15	△ 13.2	22	9.1
塩酸バンコマイシン	12	△ 29.4	14	△ 19.1	14	△ 6.9
イムネース	8	△ 40.8	8	△ 32.9	9	△ 23.1
輸出/海外子会社	171	42.6	89	△ 24.9	87	△ 31.5
シオノギ Inc.	152	58.8	58	△ 33.8	56	△ 43.5
ドリベネム	5	△ 57.3	20	16.3	17	35.8
製造受託	10	△ 35.7	8	△ 55.4	19	0.3
一般用医薬品	14	△ 3.9	14	△ 4.1	13	△ 3.4
セデス類	6	△ 10.5	7	△ 0.2	7	16.5
ポボンS類	3	14.0	2	△ 29.4	2	△ 38.2
診断薬	7	△ 9.7	8	△ 2.2	7	7.5
ロイヤリティ収入	164	56.6	184	36.4	167	21.5
クレストール	154	53.6	174	38.7	152	15.1
その他	6	2.8	6	△ 60.5	7	△ 28.7
合計	752	17.5	681	△ 0.7	739	0.1

製品別売上高は単体実績

決算期の変更により、米国子会社について、22年4-6月は22年1月~22年6月の6ヶ月分を計上

②-2 四半期別業績推移(四半期別連結損益計算書)

(単位:億円)

平成22年3月期	21年4-6月 実績	対前年 UP率	21年7-9月 実績	対前年 UP率	21年10-12月 実績	対前年 UP率	22年1-3月 実績	対前年 UP率
売上高	640	23.8	686	28.6	738	23.4	720	15.0
売上原価	26.9 172	4.1	28.7 196	19.5	27.5 202	5.7	26.6 191	1.9
売上総利益	468	33.1	489	32.7	535	31.8	529	20.6
販売費・一般管理費	63.6 407	50.3	54.2 372	40.3	49.3 363	0.6	49.3 355	2.0
販売費・管理費	246	48.4	254	56.5	238	39.4	241	10.6
研究開発費	161	53.4	118	14.8	125	△ 34.2	113	△ 12.5
営業利益	9.5 60	△ 24.8	17.1 118	13.3	23.3 171	282.4	24.2 174	92.3
営業外収支	△ 2		△ 12		△ 1		△ 2	
経常利益	9.1 58	△ 30.3	15.4 105	△ 0.3	23.0 169	282.8	23.8 171	99.3
特別損益	△ 1		1		48		31	
税金等調整前四半期純利益	57		106		218		203	
税金費用他	10		△ 37		△ 79		△ 72	
四半期純利益	7.2 46	△ 14.6	10.2 69	8.4	18.9 139	-	18.2 130	172.2

平成23年3月期	22年4-6月 実績	対前年 UP率	22年7-9月 実績	対前年 UP率	22年10-12月 実績	対前年 UP率
売上高	752	17.5	681	△ 0.7	739	0.1
売上原価	27.7 208	21.2	26.7 182	△ 7.4	29.6 219	8.0
売上総利益	543	16.1	499	2.0	520	△ 2.9
販売費・一般管理費	61.7 464	13.9	56.8 386	4.0	48.1 355	△ 2.3
販売費・管理費	333	35.4	236	△ 7.0	245	3.1
研究開発費	130	△ 19.1	150	27.5	109	△ 12.5
営業利益	10.6 79	31.1	16.5 112	△ 4.3	22.3 164	△ 4.1
営業外収支	△ 7		△ 7		△ 4	
経常利益	9.6 72	23.6	15.4 104	△ 0.7	21.7 160	△ 5.7
特別損益	△ 21		△ 40		△ 52	
税金等調整前四半期純利益	50		64		107	
税金費用他	2		43		41	
四半期純利益	6.4 48	4.9	3.0 20	△ 70.9	9.0 66	△ 52.2

決算期の変更により、米国子会社について、22年4-6月は22年1月～22年6月の6ヶ月分を計上

③ 主な連結子会社の業績（シオノギ Inc. 販売内訳）

<領域別販売>

(単位:百万ドル)

	22年度 当初予測	22年度 修正予測	22年度 修正額	22年上期 実績	22年10-12月 実績
循環・代謝領域	216	205	△ 11	146	28
婦人科領域	64	64	-	32	15
小児科領域	115	113	△ 2	57	26
合計	395	382	△ 13	235	68

決算期の変更により、米国子会社について

22年上期は22年1月～22年9月の9ヶ月分を計上

22年度は22年1月～23年3月の15ヶ月分を計上

* 記載数値は、記載している桁数未満を四捨五入したものですので、合計値が個々の数値の合計と一致しない場合があります

④ 開発品 (2011年1月現在)

<MS/感染症/疼痛>

領域	開発No. (一般名) 【製品名】	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
MS	S-474474 (イルベサルタン/ トリクロルメチアジド)	アンジオテンシン受容体拮抗薬/チアジド系利尿薬 (経口配合剤)	高血圧症	日本: フェーズⅢ	イルベサルタン: Sanofi-aventis社 (仏国) トリクロルメチアジド: 自社	自社
	S-2367 (Velneperit)	ニューロペプチドY Y5受容体アンタゴニスト (経口)	肥満症	米国: フェーズⅡ 日本: フェーズⅡ	自社	自社
	S-707106	インスリン抵抗性改善薬 (経口)	2型糖尿病	米国: フェーズⅡa	自社	自社
	ADX415	選択的 α 2受容体アゴニスト (経口)	高血圧症	米国: フェーズⅡ準備中	自社	自社
	S-234462	ニューロペプチドY Y5受容体アンタゴニスト (経口)	肥満症	米国: フェーズⅠ	自社	自社
感染症	S-4661 (ドリベネム水和物) 【フィニボックス®】	カルバペネム系抗生物質 (注射)	用法・用量追加 (1g×3回/日:重症 感染症)	日本: 申請中 (2010年3月)	自社	自社
	S-4661 (ドリベネム水和物) 【フィニボックス®】	カルバペネム系抗生物質 (注射)	各種細菌感染症 (小児)	日本: フェーズⅢ	自社	自社
	S-349572/ S-265744/ S-247303	インテグラーゼ阻害薬 (経口)	HIV感染症	グローバル: フェーズⅢ (最大進展フェーズ)	Shionogi-GSK社	Shionogi-ViiV社
	S-265744 LAP*	インテグラーゼ阻害薬 (持続性注射剤)	HIV感染症	米国: フェーズⅠ	Shionogi-GSK社	Shionogi-ViiV社
疼痛	LY248686 (デュロキセチン塩酸塩) 【サインバルタ®】	SNRI(セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬) (経口)	糖尿病性神経因性疼痛	日本: 申請中 (2009年9月)	Eli Lilly社(米国)	シオノギ/日本イーライリリー社
	S-811717 (オキシコドン塩酸塩)	アヘンアルカロイド系麻薬 (注射)	中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛	日本: 申請中 (2010年9月)	NAPP社(英国)	自社
	S-297995	末梢性オピオイド受容体アンタゴニスト (経口)	オピオイド投与に伴う消化器症状	米国: フェーズⅡa 日本: フェーズⅠ	自社	自社

*: Long acting parenteral formulation

<婦人科/小児/その他>

領域	開発No. (一般名) 【製品名】	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
婦人科	PSD502 (リドカイン/プリロカイン)	局所麻酔薬共融混合物 (定量噴霧スプレー)	早漏	欧米:フェーズⅢ	Plethora社(英国)	Shionogi/Plethora社(英国)
	Ospemifene (オスベミフェン)	選択的エストロゲン受容体 モジュレーター (経口)	閉経後陰萎縮症	米国:フェーズⅢ	QuatRx社(米国)	Shionogi/QuatRx社(米国)
小児	Glycopyrrolate (グリコピロレート) 【CUVPOSA™】	抗コリン薬 (経口)	小児における中等 度から重度の流涎 症(よだれ)	米国:承認 (2010年7月)	自社	自社
	Clonidine HCL (クロニジン塩酸塩) 【KAPVAY™】	選択的 α 2受容体アゴニ スト (経口)	注意欠陥多動性障 害(小児)	米国:発売 (2011年1月)	自社	自社
その他	S-555739	プロスタグランジンD2拮抗 薬 (経口)	アレルギー性鼻炎	日本:フェーズⅡa 欧州:POM(Proof of Mechanism)	自社	自社
	S-888711	低分子TPOミメティック (経口)	血小板減少症	欧米:フェーズⅡ 日本:フェーズⅡa	自社	自社
	S-288310	ペプチドがんワクチン (注射)	膀胱がん	日本:フェーズⅠ/Ⅱ	オンコセラピー・サイ エンス社(日本)	自社
	S-222611	Her2/EGFRデュアル阻害 薬 (経口)	悪性腫瘍	欧州:フェーズⅠb	自社	自社
	S-488410	ペプチドがんワクチン (注射)	食道がん	日本:フェーズⅠ/Ⅱ	オンコセラピー・サイ エンス社(日本)	自社
	S-524101	ダニ特異的舌下免疫療法 薬	ダニ抗原による アレルギー性鼻炎	日本:フェーズⅠ準備中	Stallergenes社 (仏国)	自社

<導出品>

開発No. (一般名)	薬効 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S-4661 (ドリペナム水和物)	カルバペネム系抗生 物質 (注射)	細菌感染症	米国: 承認(2007年10月) 腹腔内感染症 尿路感染症 申請中(2007年6月) 院内肺炎 欧州:承認(2008年7 月)	自社	Johnson & Johnson社 (米国)
S-3013 (パレスプラジブ メチル)	分泌型PLA2 (sPLA2) 阻害薬 (経口)	急性冠症候群 高脂血症	欧米:フェーズⅢ	シオノギ/Eli Lilly社 (米国)	Anthera社(米国)
S-0373	非ペプチド型TRHミメ ティック (経口)	脊髄小脳変性症	日本:フェーズⅡ	自社	キッセイ薬品(日本)

2010年11月からの変更点

ステージの変更	Clonidine HCL <米国>: 承認 → 発売
	S-888711 <日本>: フェーズⅠ → フェーズⅡa
	S-488410 <日本>: フェーズⅠ/Ⅱ準備中 → フェーズⅠ/Ⅱ

<「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発要請を受けた品目>

一般名 【製品名】	薬効 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
シクロホスファミド水和物 【エンドキサン®】	抗腫瘍薬 免疫抑制薬 (注射)	下記リウマチ性疾患 の自覚的並びに他覚 的症狀の寛解導入 全身性エリテマトー デス、強皮症、全身性血 管炎(大動脈炎症候 群、結節性多発動脈 炎、顕微鏡的多発血 管炎、ヴェゲナ肉芽腫 症等)、多発性筋炎 (皮膚筋炎)および血 管炎を伴う難治性リウ マチ性疾患(若年性皮 膚筋炎、混合性結合 組織病等)	申請(2010年9月)	Baxter社(独国)	自社
		小児微小変化型 ネフローゼ症候群	申請準備中		
メロニダゾール 【フラジール®】	抗嫌気性菌薬 抗原虫薬 (経口)	嫌気性菌感染症 アメーバ赤痢 ランブル鞭毛虫感染 症	申請準備中	Sanofi-aventis社 (仏国)	自社
メロニダゾール 【フラジール®】	抗嫌気性菌薬 抗原虫薬 (経口あるいは腔内)	細菌性膣症	申請準備中	Sanofi-aventis社 (仏国)	自社
リシノプリル水和物 【ロンゲス®】	ACE阻害薬 (経口)	小児高血圧症	申請準備中	Merck社(米国)/ AstraZeneca社(英国)	シオノギ/ AstraZeneca社(英国)
イホスファミド 【イホマイド】	抗腫瘍薬 (注射)	小児悪性リンパ腫	申請準備中	Baxter社(独国)	自社
スルファメトキサゾール・トリメ プリム製剤 【バクタ®】	合成抗菌薬 (経口)	ニューモシスティス肺 炎の予防及び治療	申請準備中	シオノギ/GSK社(英 国)	自社
オキシコドン塩酸塩水和物 【オキシコンテン®, オキノーム®】	アヘンアルカロイド系 麻薬 (経口)	中等度から高度の慢 性疼痛における鎮痛	開発方針について規 制当局と協議予定	NAPP社(英国)	自社
デュロキセチン塩酸塩 【サインバルタ®】	SNRI(セロトニン・ノル アドレナリン再取り込 み阻害薬) (経口)	線維筋痛症	開発方針について規 制当局と協議予定	Eli Lilly社(米国)	シオノギ/日本イーライ リリー社
バンコマイシン塩酸塩 【塩酸バンコマイシン】	グリコペプチド系抗菌 薬 (点滴静注)	<適応菌種>メチシリ ン耐性コアグラウゼ陰 性ブドウ球菌、ペニシ リン耐性腸球菌 <適応症>グラム陽 性菌による血流感染 (中心静脈カテーテル 感染を含む)、好中球 減少時の発熱、ペニシ リンアレルギーの代替 薬	開発方針について規 制当局と協議予定	Eli Lilly社(米国)	自社